

史跡井寺古墳被災状況調査の現状について

1. 概要

大規模震災における古墳の石室及び横穴墓等の被災状況調査の方法に関する調査研究事業（平成30～31年度事業）のうち、史跡井寺古墳の実証研究として、平成28年熊本地震が石室構造に与えた影響に関する調査を実施する。

2. 経過

平成30年

- 8月 1日 古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ（第4回）（於：熊本県庁）
- 8月 8日 第3回嘉島町史跡保存整備検討委員会（於：嘉島町公民館）
- 12月26日 嘉島町史跡保存整備検討委員会の開催（於：嘉島町公民館）
（被災状況調査の方法について検討）

平成31年

- 1月15日 被災状況調査開始
（支保工設置、崩落土除去、測量、ボーリング調査等）
この間、随時嘉島町史跡保存整備検討委員による現地指導
- 2月 3日 臨時の嘉島町史跡保存整備検討委員会（於：史跡井寺古墳）
（崩落天井石取り外し手順等について検討）
- 4日 崩落天井石取り外し
- 5日 支保工設置・安全確保の後、内部状況の確認、記録作成
- 19日 古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ（第5回）

3. 今後の予定

石室内部及び装飾の詳細な被災状況調査、記録の実施
土壌サンプルの分析等
覆屋設置後の環境調査等



覆屋枠組・足場設置状況



扉部支保工設置状況



前庭部天井石崩落状況



羨道部状況



玄室奥壁～天井部状況



玄室床面状況



玄室側壁（北壁）状況



玄室側壁（南壁）状況